

## 保健管理センターから保健管理室へ

70歳前後までの名大の卒業生が、世代や学部を問わず共有する記憶の1つに、東山キャンパスの保健管理室（保健管理センター）で行われる健康診断を挙げることができます。2022（令和4）年3月、保健管理室の全面改修・増築工事が完了し、外観が実に41年ぶりに大きく変わりました（写真1）。

保健管理室の前身である保健管理センターが組織として設置されたのは、1971（昭和46）年4月のことです。それまでの東山キャンパスには、学生会館内の名古屋大学診療所（90m<sup>2</sup>）、教養部内の保健室（90m<sup>2</sup>）がありましたが、設備・人員ともに不十分でした。健康診断も、学内の各所で行われ不便だったようです。

翌1972（昭和47）年に同センターの新営建物が完成し、4月から定期健康診断と日常の健康相談を中心とする業務が始まりました。この建物が現在の保健管理室ですが、この時はまだ2階建て（546m<sup>2</sup>）でした（写真2）。

建物の位置は、学生の利用に便利であること、できる限り閑静であること、施設の管理が容易であること、の3条件を満たす所が保健委員会で検討され、四谷通により近い場所が選定されました。しかし、そこには大型計算機センター（1971年5月竣工、現在の情報基盤センター）が建設されるということで、その東隣の現在の位置になりました。

1975（昭和50）年4月に総合保健体育科学センターが設置されると、保健管理センターはこれに統合され、保健科学部に属する保健管理室となります。その業務はセンター時代のものを引き継ぎました。

そして1981（昭和56）年8月、建物の3階（268m<sup>2</sup>）が増築され、同時に1・2階の外壁も3階に合わせて塗り替えられました（写真4）。多くの卒業生にとって、健康診断に行った保健管理室といえば、この3階建ての建物のことでしょう。



- 1 全面改修・増築後の保健管理室（2022年5月撮影）。エレベーター、休養室、エントランスなどが増築された。
- 2 竣工直後の保健管理センター（1972年）。
- 3 保健管理センター内の一般検査室（1972年）。この頃、検診の重点が結核から成人病予防に移行していった。
- 4 3階増築後の保健管理室（1989年の『名古屋大学総合保健体育科学センター概要』より。写真5も同じ）。
- 5 保健管理室内のX線室。

名古屋大学の卒業生、  
現役・退職後の教職員の方々へ

名大史をつむぐ資料を  
大学文書資料室に!



### ■ 在学時の配布物

（学生便覧、シラバス、試験問題、課外活動の資料…）

### ■ 教育・研究活動、大学・部局運営に関する資料

（各種書類、会議のメモ、備忘録、スクラップ記事、写真…）

### ■ 校費による印刷物・刊行物

（冊子、パンフレット、ポスター…）

### ■ ご退職関係の記念冊子・記念論集・業績集… など

※その他、ご処分予定の資料についても、まずは下記へご一報ください。

東海国立大学機構大学文書資料室

TEL 052-789-2046

Mail nua\_office@cc.nagoya-u.ac.jp